

巨匠の創作の足跡

バッハとパロディ Part2 ～ カンタータからミサへ

音楽監督 三澤洋史

このタイトル通り、今回のレクチャー・コンサートは、バッハという巨匠の創作の足跡をレクチャーと演奏で克明に辿る、実にワクワクする旅となる。

取り上げる曲は、バッハの小ミサ曲ト長調 BWV236。この曲のほとんどの音楽は、他の楽曲からの転用である。Kyrie はカンタータ 179 番から、Gloria の冒頭部分は 79 番からという風に。

転用の順番は決まっている。教会暦によりテーマが与えられているため、一年に一度しか上演を許されない教会カンタータから、いつでも上演可能なミサ曲へ。CD もなく、楽譜の印刷及び流布も限られていたバッハの時代。作曲家が演奏しなければ、どんな素晴らしい音楽でも響き渡ることはなかった。だから、特に会心の作が出来たら、なるべく多くの機会に用いたいと思うのは人情であろう。

ただ問題がある。カンタータとミサというジャンルの違う楽曲にどうマッチさせるか。ところがバッハはそれを、驚くべき手法で乗り越えた。

どのようにして？

さあ、これ以上知りたければ、みなさん、演奏会に足を運んで下さい。



出演者



ソプラノ 國光 ともこ アルト 高橋 ちはる テノール 大久保 亮 バス 大森 いちえい

管弦楽 / 東京バロック・スコラーズ・アンサンブル

古楽器奏法の伝統を生かしつつ、モダン楽器による最高のバッハを演奏できるオーケストラを作りたい、という東京バロック・スコラーズのコンセプトのもと、一流のプロフェッショナルメンバーを集め、構成されている。

1st Violin / 尾池 亜美 2nd Violin / 森岡 聡
Viola / 佐々木 真史 Cello / 西沢 央子
Contrabass / 高山 健児 Organ / 浅井 美紀

合唱 / 東京バロック・スコラーズ

2006年1月、指揮者三澤洋史が「21世紀のバッハ」を実現するために立ち上げた団体である。合唱団員はオーディションを通過したアマチュアメンバーにより構成される。演奏はもちろん、公開レッスンや講演会など多角的な活動を行っている。

会場 アクセス 武蔵野市民文化会館 〒180-0006 東京都武蔵野市中町3丁目9番11号
JR三鷹駅北口から徒歩約13分(文化会館通り直進)

周辺駅からのバスでのアクセス

- JR 三鷹駅北口から
市民文化会館入口下車 徒歩 2分
1番線(北裏、武蔵野駅、田無橋場、多摩六都科学館、武蔵野営業所)
2番線(梅沢駅、東伏見駅北口)
- JR 吉祥寺駅北口から
市民文化会館前下車 目の前
1番線(向台町五丁目、桜堤団地、柳沢駅、武蔵野市役所)
2番線(電通真、柳沢駅前)
- JR 武蔵野駅北口から
市民文化会館入口下車 徒歩 2分
3番線(三鷹駅行、武蔵野大学経由)
- 西武新宿線 武蔵野駅南口から
三鷹駅行 市民文化会館入口下車 徒歩 2分
- 西武新宿線 西武梅沢駅南口から
吉祥寺駅行 市民文化会館前下車 目の前
三鷹駅行 市民文化会館入口下車 徒歩 2分
- 西武池袋線 保谷駅南口から
三鷹駅行 市民文化会館入口下車 徒歩 2分



新型コロナウイルス 感染防止対策 について 重要なお願い

- チケット半券の裏面に、あらかじめお名前と緊急連絡先をご記入の上、会場へご持参ください。
- 開場時刻より前のご来場はお控えください。
- ご来場の際は必ずマスクの着用をお願い致します。また、会場内では咳エチケットを実践し、極力会話はお控えください。
- 入り口での消毒液による手指消毒にご協力をお願い致します。
- 次の方は、ご来場をお控えください。
発熱や咳等の症状のある方、体調に不安のある方、過去2週間以内に発熱等による受診や服薬及び海外渡航歴のある方
- 花束、プレゼントのご持参はご遠慮ください。終演後のロビーでの出演者との面会は原則出来ません。